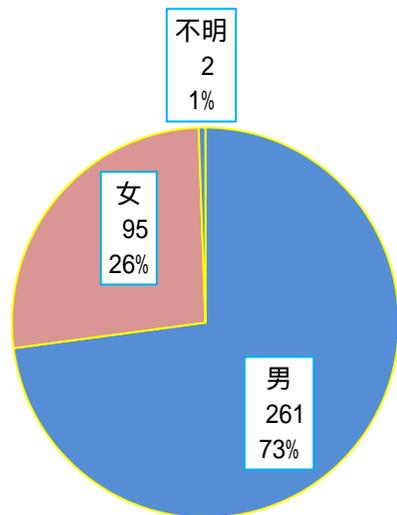


職場における健康づくりアンケート（労働者用）まとめ

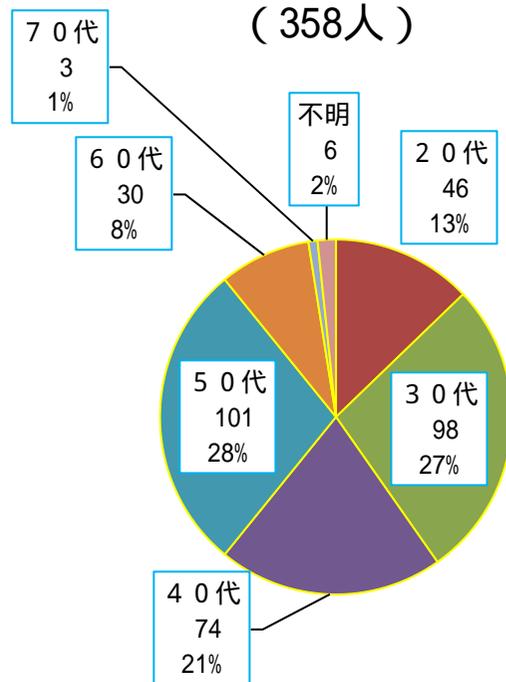
平成 25 年度 宮古労働基準監督署

- 調査時期：平成 25 年 10 月～11 月
- 調査場所：宮古島市内
- 調査目的：労働者の健康づくりの取組状況等を把握するため
- 調査方法：職場の集団検診受診者（労働者）へのアンケート方式による調査
- 回答者数：358 人（男 261 人、女 95 人） 年齢：20 代～70 代(30 代～50 代 **76%**)

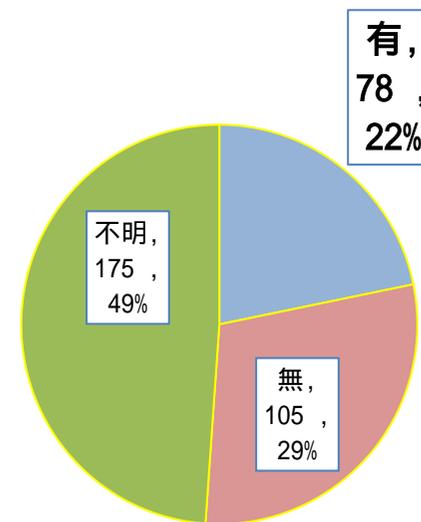
性別回答状況 (358人)



年代別 回答状況 (358人)

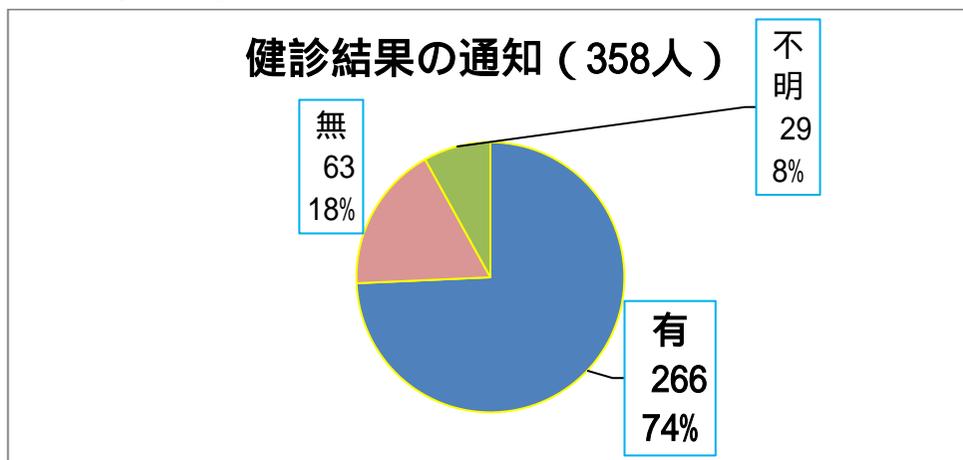


異常所見の有無 (358件)

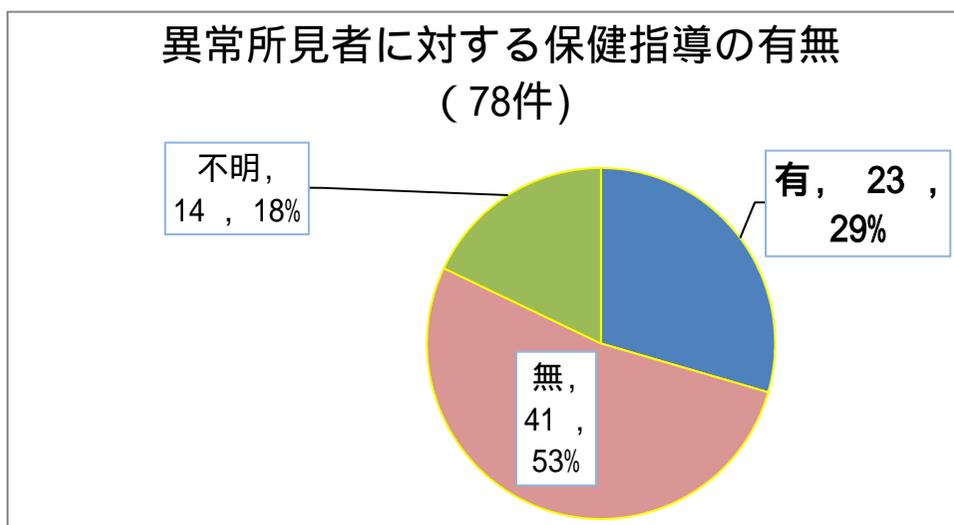


職場の健康づくり

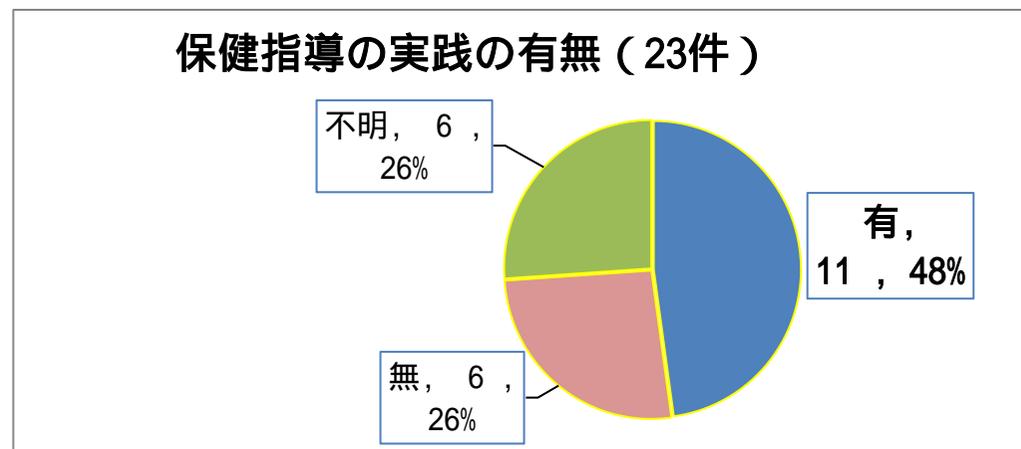
1 会社などからの定期健康診断結果の通知の有無。



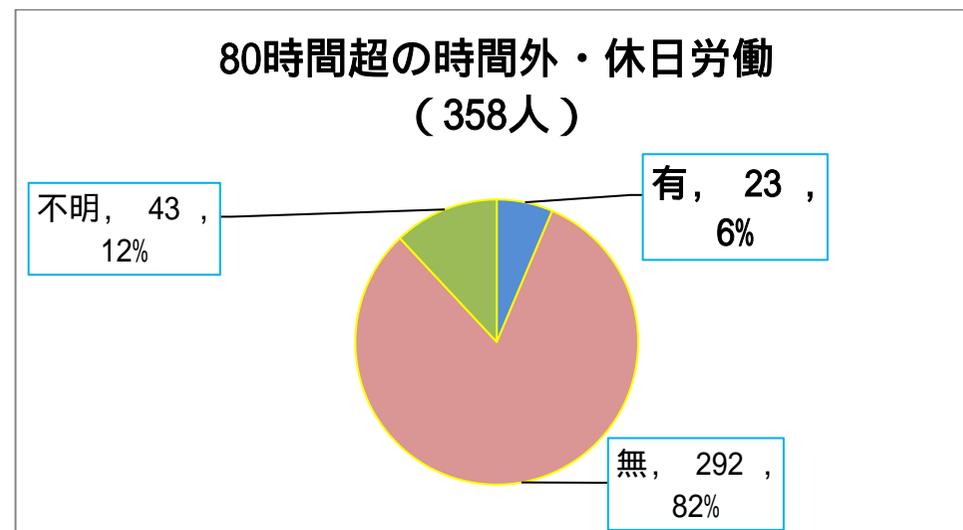
2 異常所見があった人への医師や保健師からの保健指導の有無



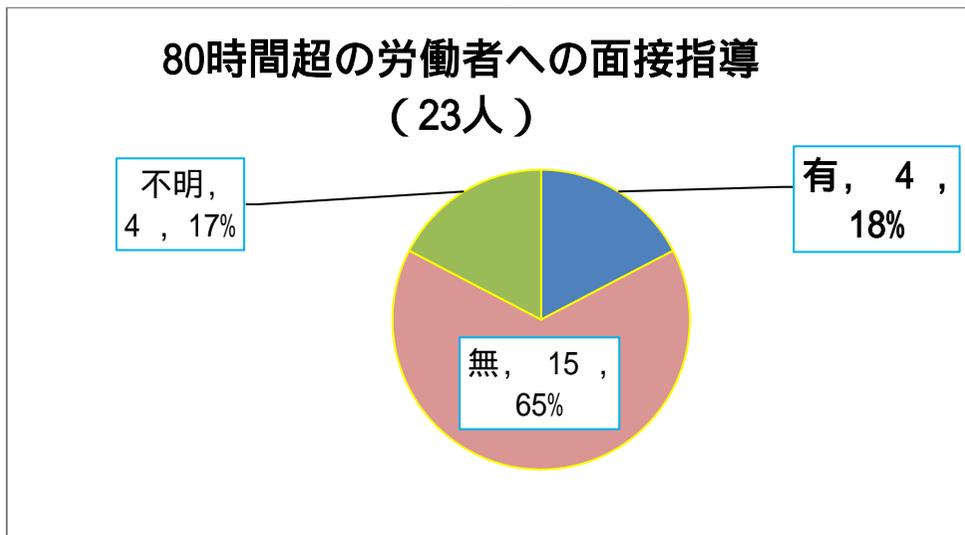
3 前記2の保健指導を受けた人の指導内容を「実践」の有無



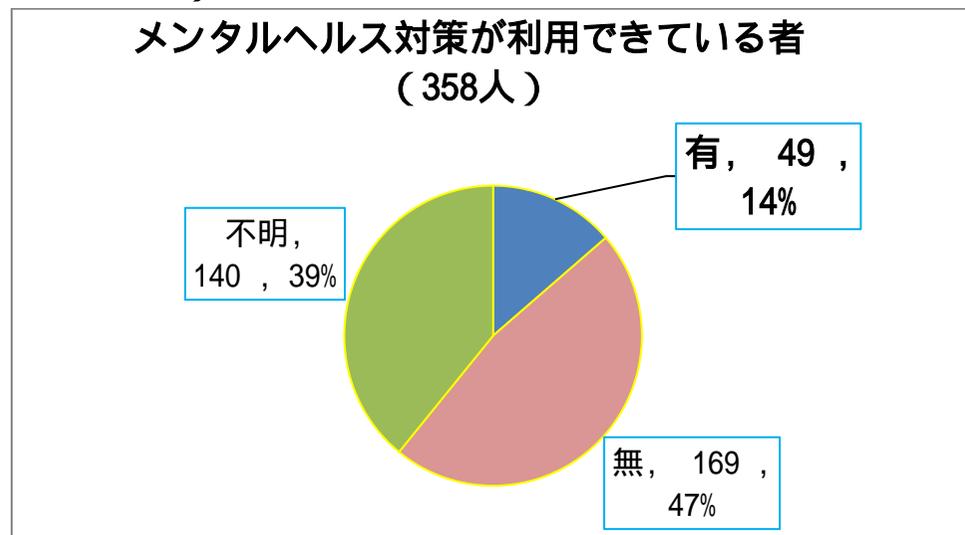
4 1カ月の時間外・休日労働時間が80時間を超えの有無



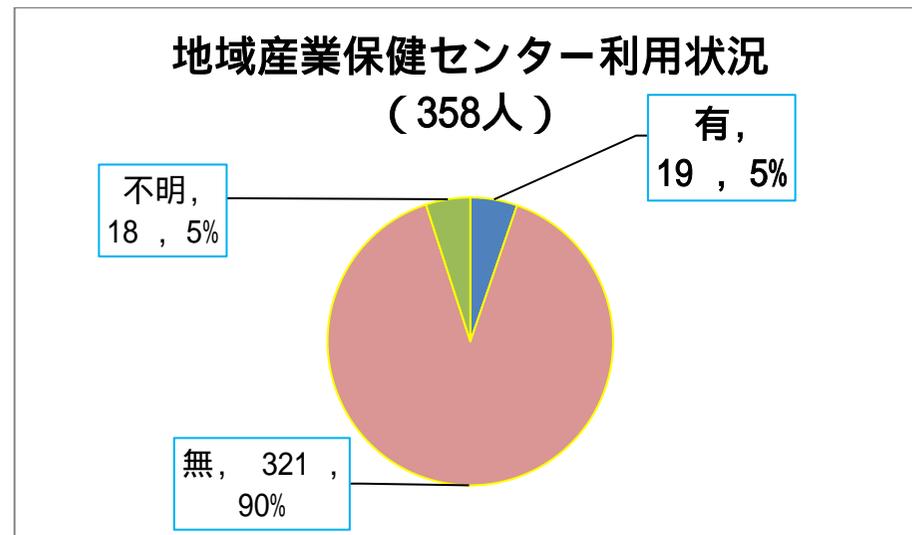
5 前4記で「有」の人で医師による面接指導等の実施の有無。



6 会社ではメンタルヘルス対策（職員研修等）に取り組んでいますか。



7 宮古地域産業保健センター利用の有無。



8 会社での健康づくりの取組内容」

- マラソン大会、ラジオ体操、青汁提供、産業保健指導

9 健康づくりで会社に期待すること

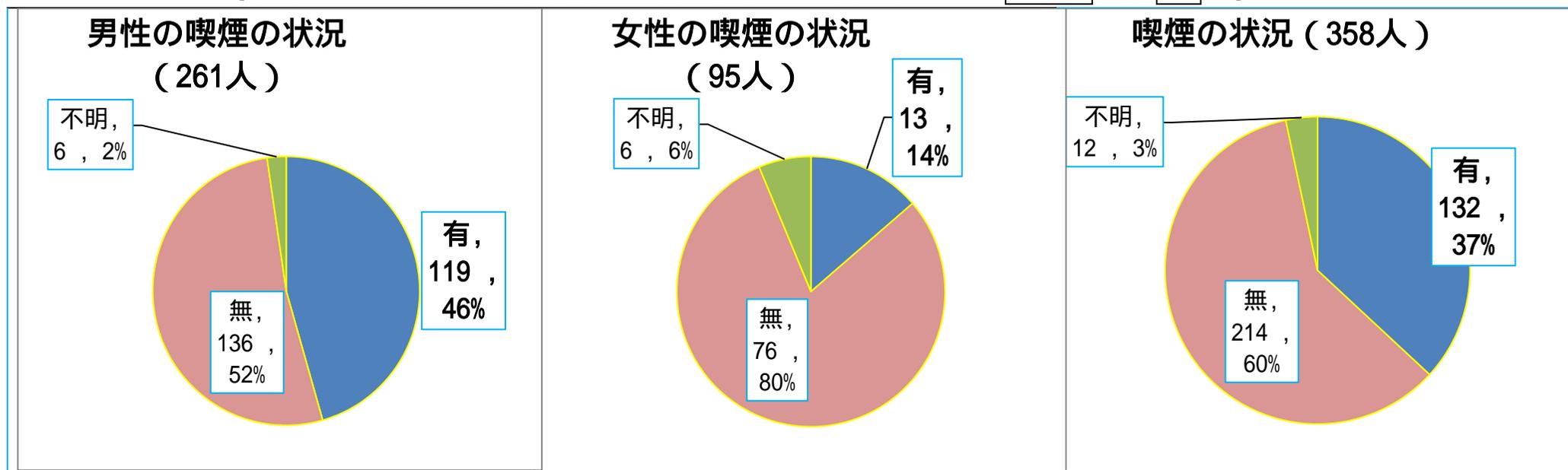
- グランドゴルフ大会、運動の推進、休日の付与、健診の実施、明るい職場づくり

10 あなたの健康づくりは何ですか

- 運動、食生活、禁煙

喫煙の状況

喫煙の有無（参考 H23 国民健康栄養調査・特定健診での喫煙率： 男 **22.7%**、女 **4.5%**）

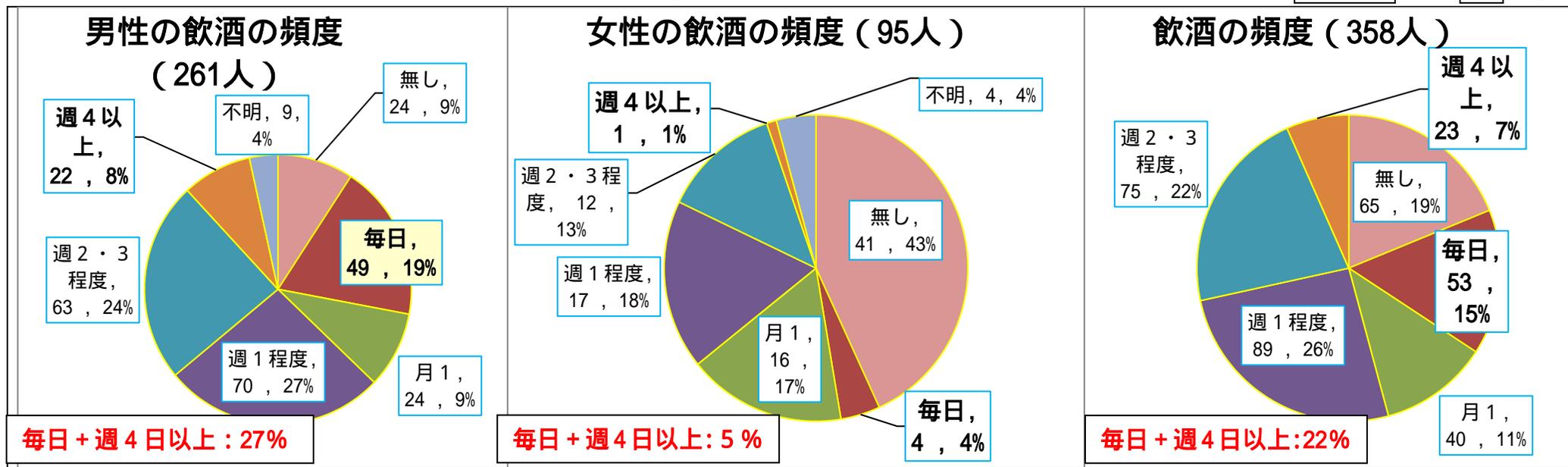


飲酒等の状況

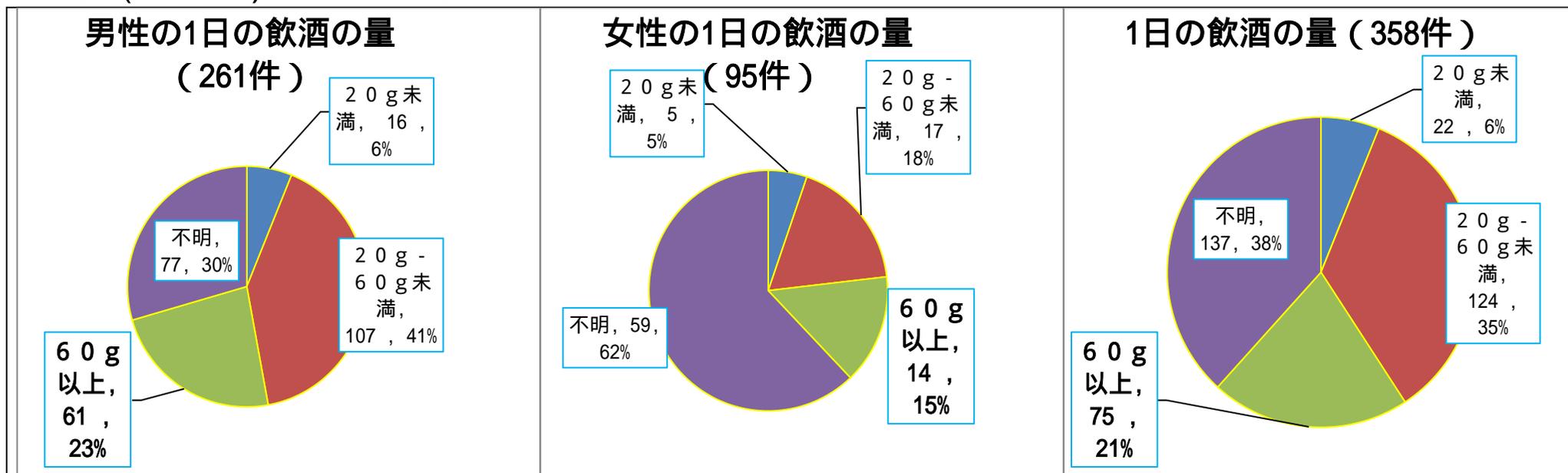
純アルコール換算（目安）（参考：宮古福祉保健所資料）

<ul style="list-style-type: none"> ◇ ビール中ジョッキ 1 杯： 500mL <ul style="list-style-type: none"> ➢ 1 杯 $500 \times 0.05(5\%) \times 0.8(\text{比重}) = \mathbf{20g}$ ◇ 泡盛グラス 1 杯： 90mL <ul style="list-style-type: none"> ➢ 1 杯・氷入・90mL $\times 0.3(30\text{度}) \div 3(\text{水割}) \times 0.8(\text{比重}) = \mathbf{7.2g}$ ◇ 酎ハイ中ジョッキ 1 杯： 500mL <ul style="list-style-type: none"> ➢ 1 杯 $500\text{mL} \times 0.08(8\%) \times 0.8(\text{比重}) = \mathbf{32g}$ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ ウイスキーグラス 1 杯： 60mL <ul style="list-style-type: none"> ➢ 1 杯 $60\text{mL} \times 0.4(40\text{度}) \times 0.8(\text{比重}) = \mathbf{19g}$ ◇ ワイングラス 1 杯： 120mL <ul style="list-style-type: none"> ➢ 1 杯 $120 \times 0.12(12\%) \times 0.8(\text{比重}) = \mathbf{11.5g}$
---	--

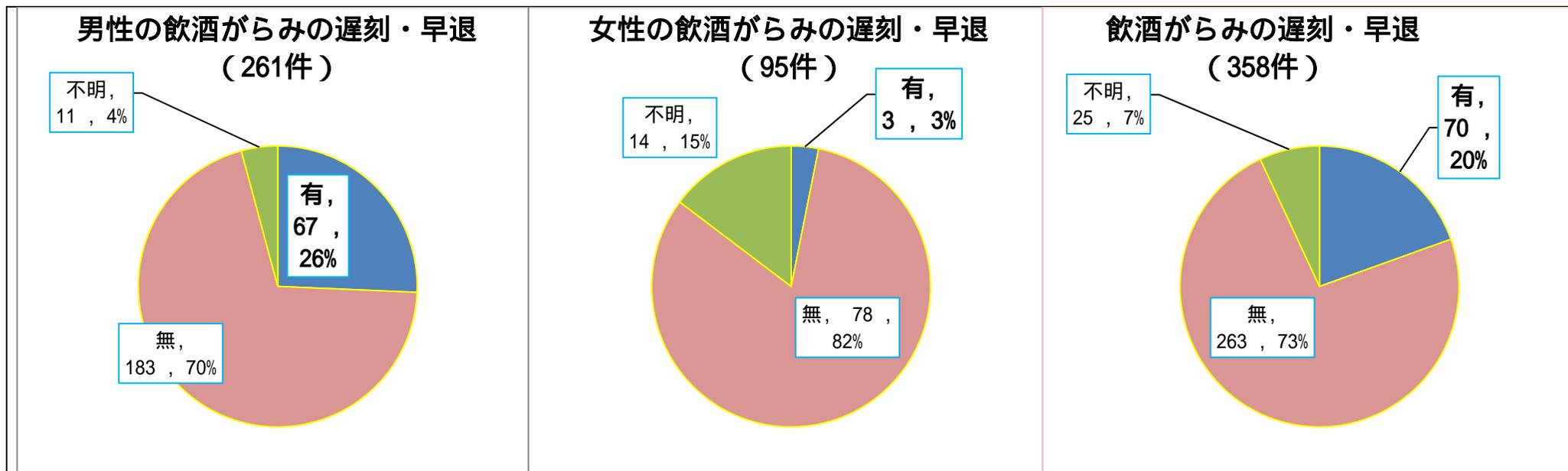
1 酒を飲む頻度はどれくらいですか（参考 H25 宮古福祉保健所発表：週4日以上男 17.2%、女 7.4%）



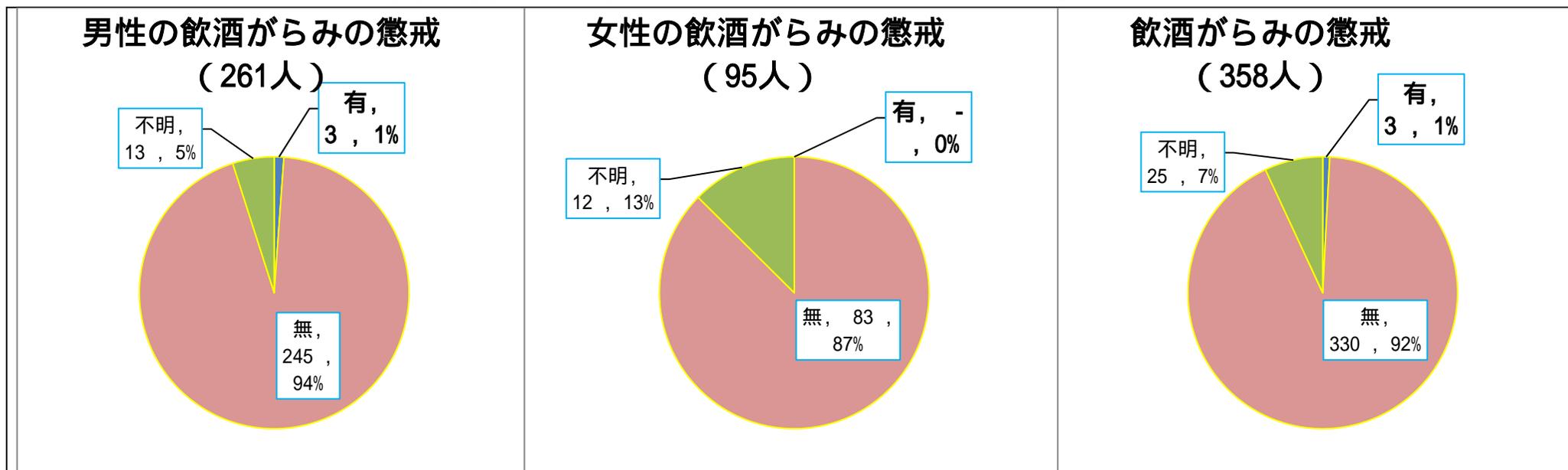
2 1日(1回当)たりの飲酒量



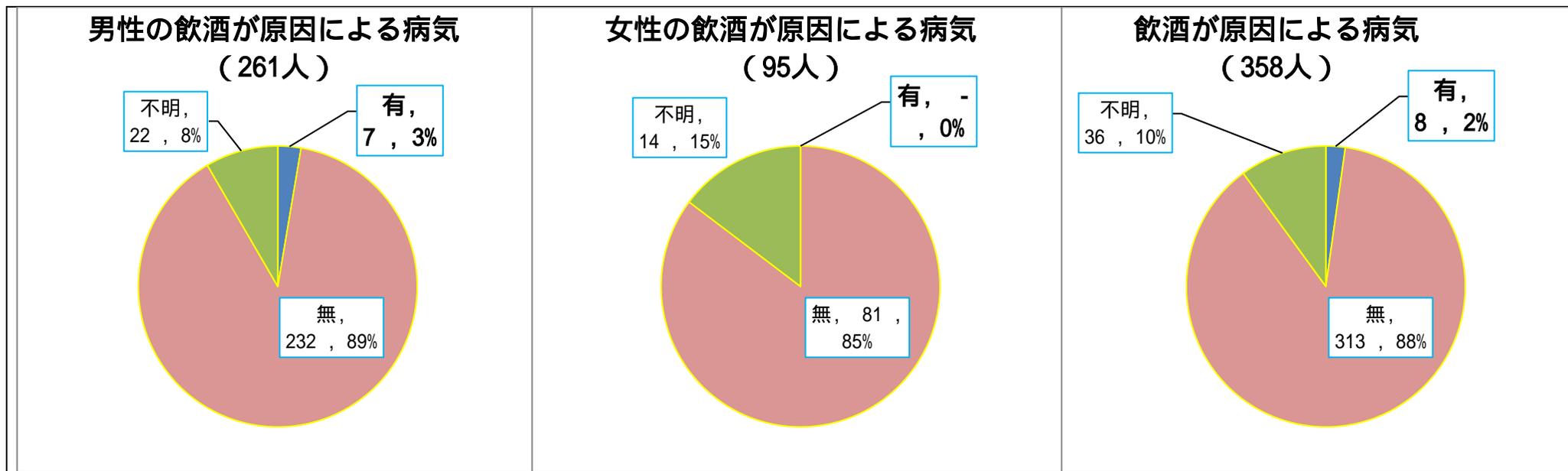
3 飲酒が原因による仕事上の欠勤や遅刻の有無



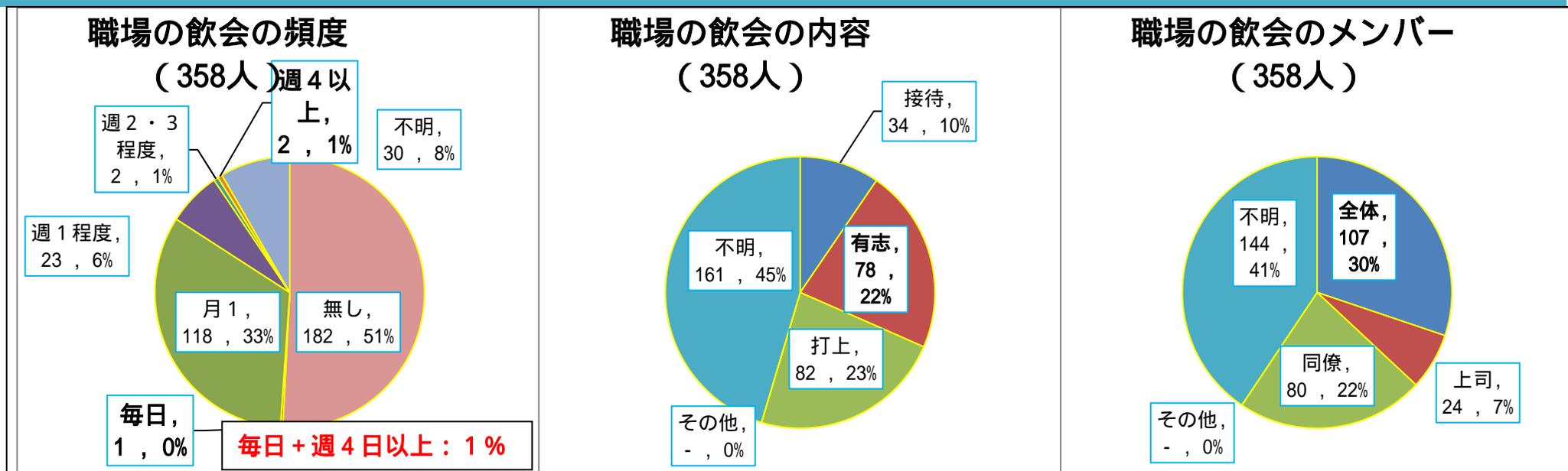
4 飲酒が原因による始末書、出勤停止、減給等懲戒処分の有無



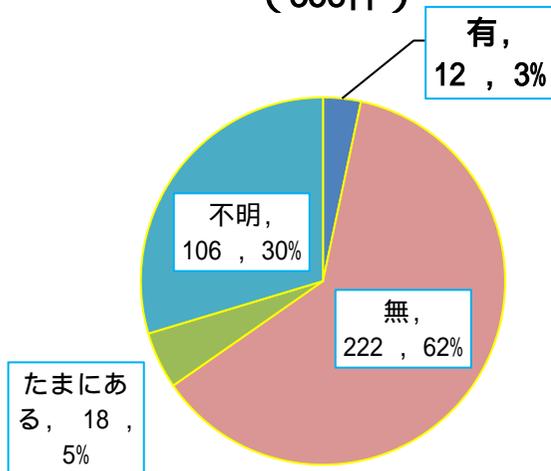
5 飲酒が原因による病気の有無



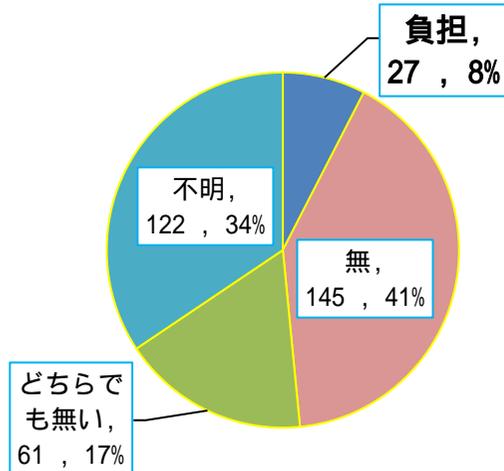
職場での飲会等について



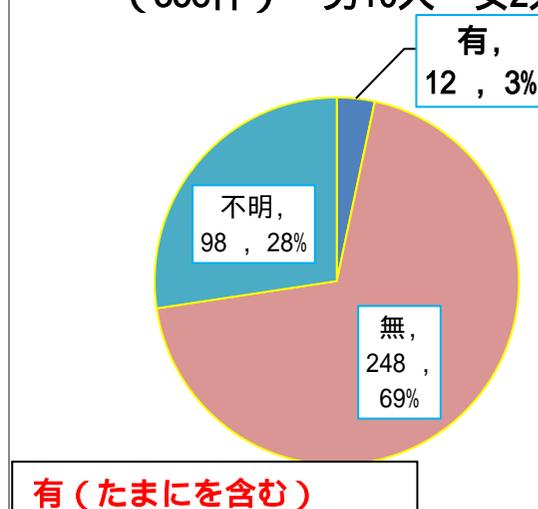
職場の飲会での家族からの苦言
(358件)



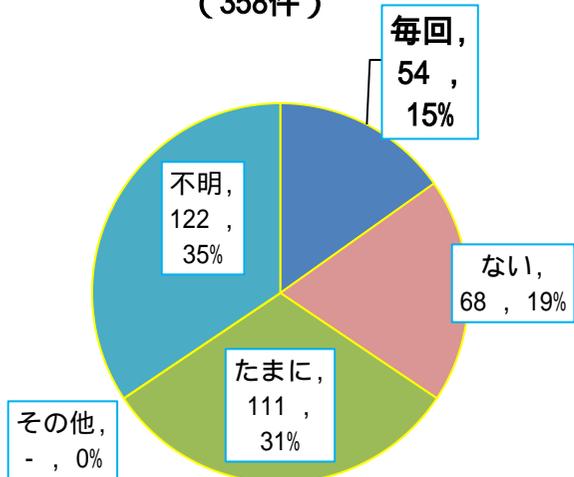
職場の飲会での経済的負担
(358件)



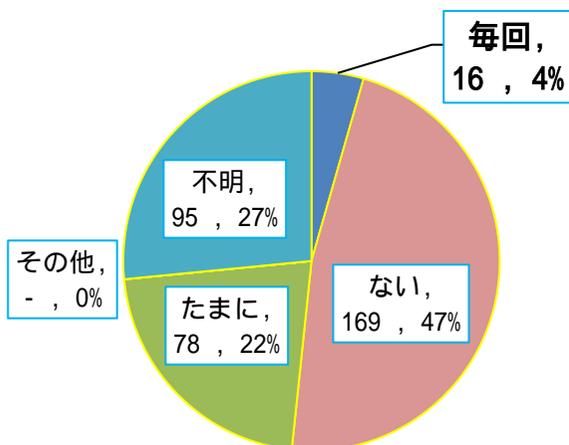
職場の飲会後の路上寝の経験
(358件) 男10人 女2人



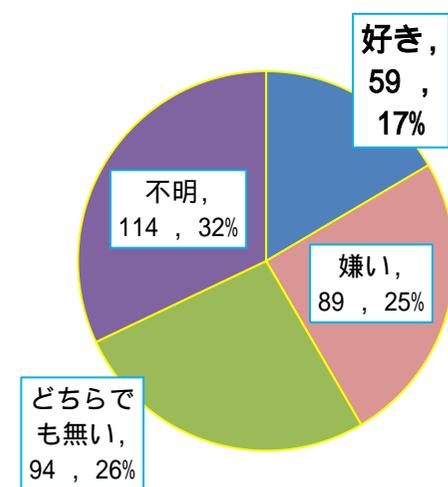
職場の飲会でのオトリーの頻度
(358件)



職場の飲会でのオトリーの飲過ぎ
(358件)



職場の飲会でのオトリーの好き嫌い
(358件)



説明： 職場の健康づくりアンケート（労働者）

【概要説明】

今回のアンケートは、労働者の健康づくりの状況等を把握するため、平成 25 年 10 月と 11 月に宮古島市内において職場の集団検診を受診者された労働者に対して実施し、358 人（男 361 人、女 95 人、不明 2 人）（30 代から 50 代が 273 人（76%））から回答が得られた。結果の概要は、次のとおり

- 異常所見率は、2 割と低い、不明の回答が 5 割なので、実際にはもっと多い可能性がある。油断できない。
- 健診結果の通知は、労働者が自己管理をするために重要な事項で、労安法で義務化されており 7 割の実施ではあるが、全員への通知が必要である。
- 健診結果による保健指導は、事後措置の重要な事項で、労安法で義務化されているが 3 割の実施は低いと考えられる。
- 保健指導を受けた後の実践は、健康管理を行うため必要なことで、5 割弱の実施は低いと考えられる。
- 1 ヶ月 80 時間を超える時間外・休日労働を行っている者は、全体の 6% と少ないが、宮古地区でも過重労働対象者が存在している。医師による面接指導等は、過労による健康障害防止を行う上で重要な事項で、労安法で義務化されているが 2 割弱の実施は低いと考えられる。
- メンタルヘルス対策については、行政の目標は取組み事業場 8 割であり、利用できている者が 2 割未満と低い状況である。
- 喫煙率は、37% である（男性 46%、女性 14%）。沖縄県の平成 23 年値では、男性 31%、女性 8% であり、宮古地区は比較的高いと考えられる。なお、健康おきなわ 21 では、平成 29 年までに男性 20%、女性 5% を目標にしている。
- 飲酒の頻度は、週 4 日以上の合計が 2 割、週 1 日から 3 日が 5 割であり、職場の飲会の頻度は、週 4 日以上の合計が 1%、月 1 回が 3 割であることから、仕事外での飲酒の機会が多いと考えられる。
- 1 日当たりの飲酒の量は、60g 以上（多量飲酒）が 2 割、20g 以上 60g 未満が 3.5 割。
- 飲酒がらみの遅刻早退が有る者は、2 割で飲酒が仕事にも影響している。
- 飲酒がらみの懲戒が有る者は、1% で少ないが、飲酒による処分者は存在する。
- 職場の飲会に関して割合は少ないが、家族からの苦言が有る者（3%）、経済的な負を感じている者（8%）、路上寝をしたことが有る者（3%）が存在しており、本人のみならず周囲の者にも影響を及ぼしていると考えられる。
- 職場の飲会でのオトリーの頻度は、毎日が 15%、たまにが 31% で、5 割弱の職場でオトリーが行なわれている。
- 健康づくりで会社に期待することは、グランドゴルフ大会、運動の推進、休暇の付与、明るい職場づくり等があった。

【課題】

- 事業主は、会社の「健康経営」にとって職場の健康づくりは欠かせないことを認識し、健康診断の実施はもちろんのこと、異常所見者に対する保健指導の事後措置等を行い、有所見者数の減少に取り組むことが大切である。また、健康増進のため運動の推進、休暇の付与や業務の見直しなどの職場環境の改善も期待されている。
- 労働者は、健康で働き続けられるよう日頃から健康に関心を持ち、保健指導を受けた場合は継続的に取り組むことが大切である。

【今後の取組】

- 法令の周知啓発、事業主アンケートの実施、労働者アンケートの実施、宮古地域産業保健センター等の利用促進等に取り組む。
- 沖縄労働局では、平成 25 年度から 5 年間にわたる第 1 2 次労働災害防止計画を策定しており、当署も平成 29 年までに宮古地区の 50 人以上の事業場の有所見率と全国との差を 7 ポイント以内（平成 24 年の差は + 9 ポイント（宮古地区 6.2%））、平成 29 年までにメンタルヘルス対策に取り組んでいる事業場の割合を 80% 以上（平成 25 年度 32%）
- 受動喫煙防止対策の周知・啓発。